2025.02.13　競技委員会での決定事項

●参加者（競技委員会）

新家主査、高本委員、佐藤委員、飛田委員、水元委員（JEED）

安藤委員（トヨタ自動車）、吉田委員（日立GLS）、宮坂委員（セイコーエプソン）、古井戸委員（デンソー）

●参加者（議事提案者）

水谷　恭良（デンソー）、平野　凌佑（トヨタ自動車）

●議事・決定事項

-------------------------------------------------------------

・EVの使用時間について競技日程に追記する。

-------------------------------------------------------------

・搬入時間について、展開時間の管理を明確にするために、搬入実績時間を記入する欄設けて入り口に掲示する。

-------------------------------------------------------------

・機械の作業台の高さについて限定規則と工具表に渡って様々な数値規定が記載されており、誤解を招いている可能性があるので「床面から1500ｍｍ以下」という線引きのみとします。「刃物台」はそういった表現はないがこれも同様とみなす。持参工具一覧表、競技上の限定規則を書き換える。

-------------------------------------------------------------

・課題の難易度について評価表を各企業に展開する。（主査より2/24までにメール）

ブラッシュアップ課題開発に取り組むときに、前回大会の産業用ロボットHの難易度を参考にパーソナルモビリティの図面を調整してもらう。参考程度の扱いとして、面数の数え方など、見る人によって違いが出るが参考で構わない。

-------------------------------------------------------------

・金型設計の限定規則について、国際大会に関する記述などを削除する。

-------------------------------------------------------------

・練習用金型の形状変更について単純な□で任意形状にすることを可とする。

ただし、従来の練習用金型と異なる金型を持ちこみたい場合は、職種HPまたは主査へメールにて写真を提出する（金型、製品のみ、設計段階の図面やモデルなど、形状が分かればOK）

-------------------------------------------------------------

・測定器の改造（外側マイクロのアンビル、デプスマイクロの先端、など）について、可とするが、改造を施す場合は写真を職種HPまたは主査に提出する。

-------------------------------------------------------------

・仕上エリアの位置間違い防止のために、大会2か月前の連絡会時に、場所の表記をアルファベット2文字の組み合わせによって公表する。

-------------------------------------------------------------

・成形競技への企業補佐員の増員について、協賛機の所有企業優先で人選：デンソー機（水谷）、トヨタ機（平野）、日立GLS機（小室）、ジェイテクト機（森田）、競技委員はシャッフルする。※（）内は予定、敬称略

【条件】

・各ブースで担当した選手の成形状況について口外しない事。

・競技日は初めの集合時間から解散まで成形場へ拘束される。

・競技委員室には立ち入らない。昼食は成形場。

・今後成形機を持ち込めるか否かは別途相談で今回は度外視してOK。

-------------------------------------------------------------

・ゲート設計の当日公表など、競技の変更案について、下記の通りの扱いとする。

【63回】

1. 当日公表は導入せず、大会までの計画として、下記の通りの変更を加える。

・提案企業によりブラッシュアップ課題発表の段階で製品図面にゲート設置可能箇所を指示する

・例題を競技委員会で示す。

・一次投票で3つの候補に絞る。理由：ゲート位置の検証など期間的に難しいため減らす。

・1部品につき2面以上、ゲート設置可能な面を、提案企業がブラッシュアップ課題提出時に指定する。

　※プラッシュアップ課題の精査期間で、設定箇所に意見が多い場合、変更があったら、最終決定は8/6企業連絡会までに行う。

②　大会当日の採点評価として、下記の通り変更する。

・受け取り検査の配点を無くし、合否判定のみにする。2点のうち1点を製品のゲート痕の外観に配点する。もう1点は金型の加工状態に配点増する。

・外観に配点した1点の取り扱いについては、

［1］ ゲートが①に指示された位置にあること

［2］ ゲートの切残しが無いこと（0.5mm以上）

［3］ ゲートを切った痕が食い込んでいないこと

・・・それぞれの部品について評価し、1部品でも該当があれば加点しない。

※「ゲート」は、離型対策のオーバーフロータブを含む。

※「寸法評価用」を「部品評価用」と名称を変え、寸法と、ゲート痕の外観の評価とする。

※金型加工状態の製品部に関わる項目を1.5点ずつにする。3か所まで数え0.5点ずつ加点を減らす。

以上の通り採点基準と採点表を変更する。

【64回以降の方向付け】

・当日公表を導入検討する。金型設計についての対応力を評価するため。

　・対象面は提案図面にある候補面の中から選出する。

　・各部品についてそれぞれ指定する。

※63回大会の運営状況や選手の得点傾向などを見て検討する。

-------------------------------------------------------------

年間計画表、競技上の限定規則、持参工具一覧表、採点基準、採点表、競技日程などは、2月28日を目途に完成次第展開する。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・・・以上